

## 副理事長ご挨拶

気象庁が特別警報とする、大雨、洪水等、「これまで経験したことのない大雨・・・という文言がテレビから度々聞かれ、沖縄奄美、九州南部、四国、信越中部、東北といった地方に甚大な土砂災害をもたらし、大つぶの雹で大きな農業被害、都内でも大雨に伴う浸水で高架のアンダースルーに車が水没するなど、日本は亜熱帯になってしまったのかと思えるような異常気象の梅雨です。



海外に眼を転じれば、パレスチナとイスラエルの報復合戦からとうとうイスラエル軍地上部隊がガザ地区に侵攻したり、ウクライナ東部での親ロシア派とウクライナ政府との衝突に、マレーシア航空機の墜落といった状況が絡み複雑で深刻な事態へと。シリア、イラク情勢も民族争いが激化し和平に程遠く、嫌日の中国や韓国の接近といったあまり嬉しいニュースが聞けません。

しかしながら辛うじて消費税増税後の経済の落ち込みも想定範囲で、日銀の発表した景気動向も概ね良好と受け取られ安堵する・・・、梅雨明けが待ちどろしい日々です。

新年度に入りました本機構の活動も、それぞれのメンバーが、技術委員会、事業委員会に分かれ、皮切りに今月7月22日の技術委員会に於いては、ジャパンエキスポ2014の報告、ARKプロジェクト、今後の活動テーマ等、アクティブな活動がなされて行きます。

3年目を迎えた本機構も秋田理事長を中心に、日本のコンテンツ産業の振興に寄与すべくメンバー全員一丸となって、勝負の年と捉えて邁進することを、これまで応援頂いております方々にお誓いするとともに、参加メンバーの企業や個人の皆様に活動頂いている限り、リターン、メリットを享受いただける機構になるよう、小生も活動いたします。

小山昌孝

## 「ARK-PROJECT 共同事業計画案」について

昨年度から議論されている「ARK-PROJECT 共同事業計画案」について、理事会や運営委員会に出席できなかった方を含めて理解を深めていただくために、理事会で配布された資料及び、経産省においての ARK-PROJECT の報告で配布された資料を掲載いたします。

(次頁より)

「ARK-PROJECT 共同事業計画案」についての議論の一助になればと思います。

ARK-PROJECT : <http://www.ark-project.jp/>

## 概要

「Ark Project」を「我が国の産業・経済界における新しいビジネス・モデル」と位置付け、CPO-JP主体による「プロモーション、訴求」および「ビジネス化、事業化による収益構造確立」のための「(学術的)新経済の基盤作り」を目指す。

- 「ビジネスクリエーション部会(仮称)」の直近の主軸テーマ(事業)として、前年度(2013年度)DCAJ⇄CPO-JP連携による経産省実証プロジェクト「Ark Project」をCPO-JP主導にて継続
  - ・ 組織・体制構築
- 「予算化」および「事業化による営業&回収」計画
  - ・ DCAJとの連携・協力による経済産業省デジタルコンテンツ振興関連補助予算獲得
  - ・ 別省庁からの補助予算獲得
  - ・ B2B(企業向け)営業による独自予算の獲得

 「Ark Project」共同事業計画案  
 年次予算計画(案)

## ● 2013年度実績&amp;2014年計画

2013年度「Ark Project」予算実績 : 500万円(推定)


 イベント・プロモ費  
 開発費  
 コンテンツ制作費  
 人件費

2014年度「Ark Project」予算計画案 : 400~500万円


 イベント・プロモ費  
 開発費  
 コンテンツ制作費  
 人件費

平成25年度 経済産業省支援事業  
我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備

## クラウドサービスを利用した CGデータ共有化によるUGCサイクル活性化動向調査

### 「CG制作」はクラウド活用において、他産業よりも遅れをとっているのではないか？

クラウドサービスの利益とは「リソース」を共有すること

クラウドサービスのレイヤー

SaaS  
(Software as a Service)

PaaS  
(Platform as a Service)

IaaS  
(Infrastructure as a Service)

3DCG制作で考えられる可能性例

3D制作ツールやデータリソース等の情報（データ）の提供

コミュニティ、共有メディアの提供

Render Serverやストレージサーバーの提供

SaaS,PaaSレイヤーにおける活用例が圧倒的に少ない

共有可能な情報の範囲



情報（データ）の共有化に空白地帯がある

CIRCUMSTANCE

# ARK-PROJECTとは



**CGデータは、コンテンツ生成における「共有金型資産」となりえる  
そのためのCGデータ共有基盤プラットフォームを目指します**

## 現状

### 3 DCGデータは、本来非常に再利用性の高い情報データである

2Dイラストなどの一般的な情報コンテンツに比べ、3 DCGデータは**非常に再利用性の高い**情報データである。ある特定の立体形状を制作する際に、ゼロから制作を行うのに比べ、類似した形状の3Dデータを流用しそれを改変制作することで制作コストを著しく下げることが可能である。つまりデータ資産が蓄積するほど、制作コストを下げる事が可能となる。

### しかし現状、3 DCGデータの共有化は行われていない

一方、ゼロから3 DCGデータを制作することは非常に高いコストがかかり、各企業で事業を進める上での**重要な資産**となるため、機密性が非常に高く、**データ共有を行うことは一般的に行われていない**。また一般的にCG制作会社は「受託」による事業形態をとるため、自社で制作を行った3Dデータについて、著作権を保持していないことが多く、**二次利用及び、改変をすることが非常に困難**な状況がある。

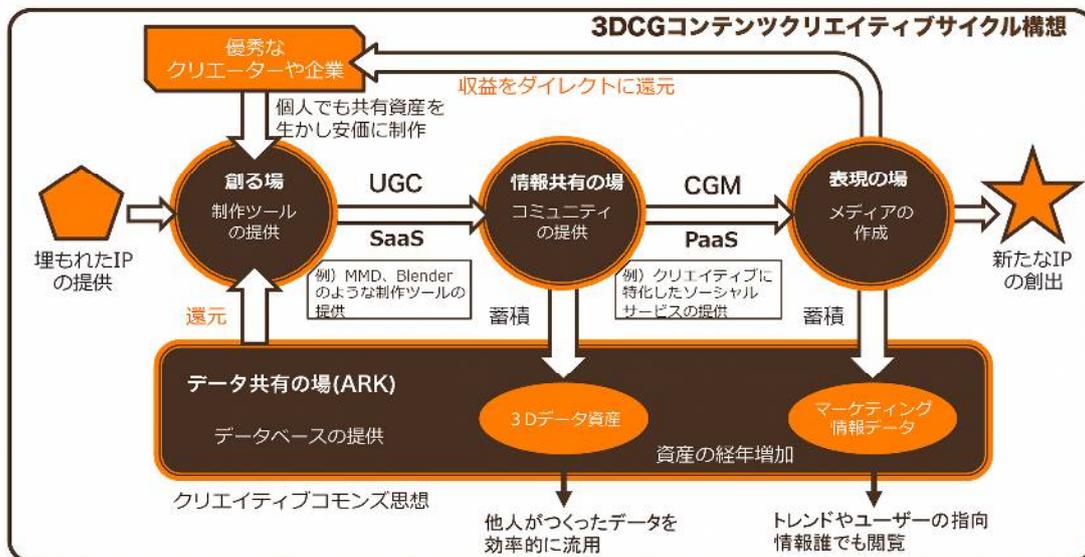
## コンテンツクリエイティブサイクル構想

### 日本のアドバンテージ

- ✓ 優秀な個人クリエイターは多数存在する！
- ✓ 魅力あるIPが数多く埋もれている！

### 環境

- 制作を行えるままの資金をつくれぬ
- 個々の経験、知識は非常に豊富だが、それを他者と共有する環境がない
- 創ったものを公開し収益に繋げられる場所がない



## 3Dデータの共有化のメリット

**制作費の削減**      **3Dプリント活用**  
**二次創作の活性化**      **OCULUS RIFT活用**  
**フォーマットの共通化**      **ナレッジの共有**  
**データの再活用**      **非技術者の3Dデータ活用**

**3Dデータ共有ライブラリ  
(ARK)**

CGデータ共有化による活用の可能性は非常に多岐にわたる

## 3Dデータの共有資産化構想

**フォーマットを整備し、誰でも利用可能な  
CGデータの図書館を構築する**

高品質なCGデータを誰でもかんたんに公開し、  
利活用できるクリエイティブサイクルを創出する

- ◇ 高品質なサンプルCGデータを無償でデータ公開する
- ◇ クラウド (GITHUB) を有効活用し、世界中にデータ共有を行う
- ◇ 公開されたデータについて「フォーク」を推奨し、データの利活用をトレースする
- ◇ データ公開に関する手順 (技術) を同時に公開し、データ共有を行う文化を推奨する

# ARK-PROJECTの取り組み

当プロジェクトにおける「CGデータの公開」については「オープンデータ」と類似する性質をもつため、行政が進めるオープンデータ推進に関わる取り組みを参考とし進める

電子行政オープンデータ推進のための具体的な取組

- ① 二次利用を促進する利用ルールの整備
- ② 機械判読に適したデータ形式での公開の拡大
- ③ データカタログ(ポータルサイト)の整備
- ④ 公開データの拡大
- ⑤ 普及・啓発、評価

当初の取り組みにおいては、

- ①二次利用を促進する利用ルールの整備 → 「公開データのライセンス定義」
- ②機械判読に適したデータ形式での公開の拡大 → 「公開データのコンベンション定義」

の取り組みが相対する

参考

「電子行政オープンデータ推進のためのロードマップ(案)」

MARZA ANIMATION PLANET

## 公開データの著作権についての考え方

ARK-PROJECT では**クリエイティブ・コモンズライセンス**にて3Dモデルデータを公開しています。

3Dモデルデータはその性質上、複数の著作物からなりたつことが多く、当プロジェクトでは**「キャラクターデザイン」及び「CGデータ」について分別された状態でライセンス表記**を行うことを推奨しております。

CC0について

CC0とはコンテンツの作者・所有者が、著作権による利益を放棄し、作品を完全にパブリック・ドメインに置くことを可能にするものです。CC0によって公開されたデータは、**利用者が著作権による制限を受けない**形で自由にデータを拡張し、再利用することができますようになります。

## ARKプロジェクトの活動成果

**大崎一番太郎 3Dデータ公開** (大崎商店街提供)

モデルデータライセンス CC0 デザインライセンス CC0

**蒼樹ラピス 3Dデータ公開** (株式会社スタジオディーン提供)

モデルデータライセンス CC0 デザインライセンス CC-BY-NC-SA

**からす天狗うじゅ 3Dデータ公開** (うじゅ製作委員会提供)

モデルデータライセンス CC0 デザインライセンス CC-BY-NC-SA

**テディベア 型紙データ公開** (Yu Amatsu提供)

モデルデータライセンス CC0 デザインライセンス CC0

A DEGREE FAHRENHEIT

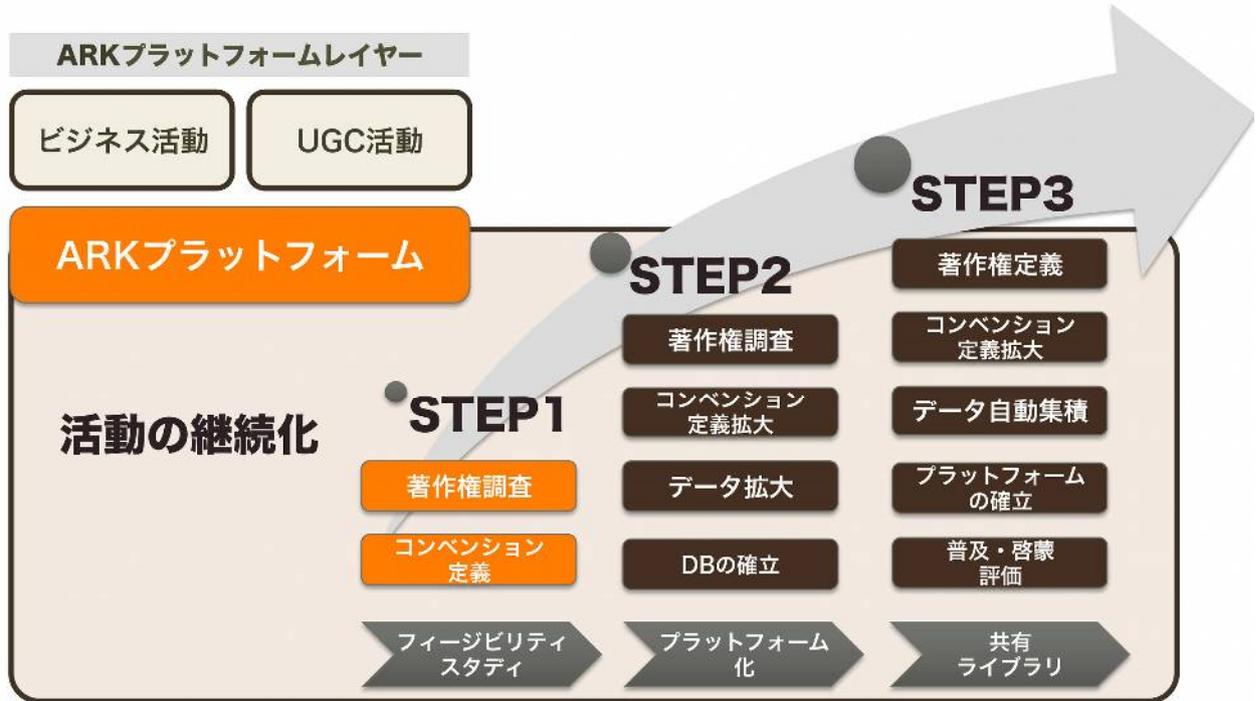
2014-15 AUTUMN / WINTER COLLECTION

MARZA ANIMATION PLANET

## 今後の課題

- ✓ 著作権定義、啓蒙活動の継続
- ✓ 共有化3DCGデータの収集活動の継続
- ✓ 3Dモデルデータコンベンションの定義拡大
- ✓ データベースの構築

# ARK-PROJECTの活動ステップ



## 事務局より

年内の理事会及び運営委員会の日程が決まりましたのでご報告いたします。  
開始時間はいずれも 16:00 からとなります。

8月26日(火) 第二回技術委員会

9月2日(火) 第二回理事会

9月30日(火) 運営委員会

10月21日(火) 運営委員会

11月18日(火) 第三回理事会

※12月の開催はありません。

以上、宜しくお願いいたします。

ご意見・ご感想は下記の事務所までご連絡ください。

編集責任者 専務理事 野口 和紀

日本コンテンツ振興機構

〒180-0003 東京都 武蔵野市 吉祥寺南町 4-4-13 TEL:0422-35-3305 FAX:0422-70-3073

ご意見・ご感想は下記の事務所までご連絡ください。